

日本一きっぷシリーズ第3弾！

地元のお米を使用した「日本一！小さい入場券」を発売

2種類の記念入場券を7月12日より販売開始

富士急行株式会社（本社：山梨県富士吉田市、社長：堀内光一郎）では、富士山世界遺産登録一周年を記念した「日本一！小さい入場券」を平成26年7月12日（土）より販売いたします。

「日本一！小さい入場券」は、「日本一長～いきっぷ」（平成24年発売）、「日本一！高い入場券」（平成25年発売）に続く、日本一きっぷシリーズ第3弾となり、地元富士吉田産のミルクークイーン（日本米）のお米1粒を使い、長さ約5mmの表面に入場券料金と乗車券番号、裏面には世界文化遺産登録1周年となった富士山がデザインされています。

この「日本一！小さいきっぷ」は、米粒アートにおいて高い技術力を誇るペイント工房ルピナス様（大阪府茨木市）にご協力を頂き製作いたしました。あまりにも小さいため、販売の際は、富士急行線オリジナルのキーホルダーに入れた状態でお客様にお渡し致します。

また、同時に7月1日に山開きを迎えた富士山の安全登山を祈願した「富士登山安全祈願入場券」を販売いたします。両きっぷの概要は下記の通りです。

記

○「日本一！小さい入場券」

1. 発売期間 平成26年7月12日（土）～
2. 発売金額 3,776円（税込）
3. 販売数 20個 ※以降は受注生産となります。
4. 効力 富士急行線富士山駅に入場が可能です。※有効期限は1年間（電車内に立ち入ることや、乗車券として利用することはできません）
5. 販売箇所 富士急行線富士山駅
6. 企画協力 ペイント工房ルピナス



○「富士登山安全祈願入場券」

世界遺産「富士山」は、7月1日に山開きを迎え、登山シーズンが始まりました。富士急行線では、富士登山の安全を祈願して、富士山世界遺産の構成資産であり、毎年6月30日に富士登山の開始を告げる「お道開き」が行われる北口本宮富士浅間神社にて祈禱を行った「富士登山安全祈願入場券」を発売します。

「富士登山安全祈願入場券」は、入場券と専用台紙、富士山の麓で育まれた伝統と技術による“ふじやま織”のおまもり袋がセットになっています。入場券はふじやま織のおまもり袋に入れて持ち歩くことができます。

1. 発売期間 平成26年7月12日（土）～
※売り切れ次第終了となります
2. 発売金額 500円（税込）
3. 販売数量 500セット限定
4. 効力 富士急行線富士山駅に入場が可能です。※当日限り有効
（電車内に立ち入ることや、乗車券として利用することはできません）
5. 発売箇所 富士急行線富士山駅



台紙付の入場券（右）と
“ふじやま織”おまもり袋（左）



台紙裏面